



体験の機会の場の認定 佐賀県第一号! いまり「こまなきの里山」

令和2年10月1日に佐賀県知事から環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第20条の規定に基づき佐賀県で第一号、九州で初めて認定された「体験の機会の場」である名称 いまり「こまなきの里山」における環境学習イベントを令和2年11月22日に行いました。

佐賀県伊万里市駒鳴は一級河川松浦川の中流域に位置し、標高200mほどの山々に囲まれた田園地帯です。駒鳴地区は16世紀後半には里山を形成したという記録があり、歴史的に興味深い場所です。いまり「こまなきの里山」は、当社(朝日テクノ株式会社)顧問が駒鳴の地で営んでいる体験型の農村民泊「烏泊山荘」の裏山のスギ林、雑木林、キャンプ広場などを活用した環境学習に最適な場所です。

いまり「こまなきの里山」のコンセプトは『森で遊び、生物と触れ合う機会や参加者同士のコミュニケーションを通じて、自然と共生する感性や知恵、工夫を体感する体験の機会の場』であり、四季折々の自然の移り変わりを体感してもらうため、季節ごとの環境学習イベントを企画しています。

今回のイベントは、募集人数15名に対して24名の方々から申込みをいただき、福岡県など遠方から来られた方もいらっしゃいました。

参加者・運営者には、消毒の徹底、検温、ソーシャルディスタンスの確保(椅子の間隔2m)をしっかりと行い、細心の注意を払ってイベントを運営しました。

まず注意事項を説明し、主催者の挨拶を行った後に当社の社員(環境カウンセラー・ビオトープ管理士・環境教育インストラクター)が講演を行い、里山とは何か、生態系とは何かについて説明しました。

その後、キャンプ広場から少し登ったところにある林道へ向かい、森の自然を楽しみながら生きもののお話をして歩き、途中イノシシのヌタバや足跡など

を観察しました。雑木林の中のツリーハウスでの小休止後にキャンプ広場に戻り、感想会を行いました。

1時間ほどの短い自然探索でしたが、参加者には好評のようで「コロナ禍の中で何処に行くにも大変な時期ですが、対策をきちんとされていたため、安心して野外でのイベントに参加出来、心身ともにリフレッシュできました。(13歳男性)」「山の探検や生き物探し、美味しいランチなど楽しい体験ができ、おだやかな時間をすごすことができよかったです。(30代女性)」などのコメントをいただきました。

令和3年度も社会貢献活動として、四季折々のイベントを予定しており、体験を通じながら環境教育を実施していきます。

朝日テクノ株式会社
山口 和行
(1級ビオトープ計画管理士)
力武 和夫
(1級ビオトープ施工管理士)
田中 和生
(1級ビオトープ計画・施工管理士)

